



おおみ りゆうせい
逢見 竜正 議員(落部小学校5年)

落部地区の通学路の除雪をしてほしい

僕が住んでいる落部地区の通学路は、除雪がされていないととても歩きづらく危険です。子どもからお年寄りの方まで通る道なので、通学路の除雪について改善策の検討をお願いします。

答弁)町長

降雪量がおよそ15cmに達している場合は除雪作業を実施しておりますが、少量の降雪の場合には基本的に除雪作業は実施しておりません。少量の降雪の場合には、日中に車や人の通行によって踏み固められてしまうという状態となり、道路がデコボコになったりすることがあります。そのため、道路パトロールや除雪業者さんにも情報をいただきながら、車や人の通行に支障となる場合には、降雪が無くとも路面整正という作業を実施して、道路をきれいにしているところであります。しかし、日中は車や人の通行が多くあり、道路上での除雪作業・路面整正作業については危険を伴うため、実施が難しいこともあります。通行される方々には細心の注意を払って通行していただくことをお願いするとともに、皆さんが安心して通行できるように、作業方法や除雪体制など工夫・改善をしながら、道路交通の安全を確保するよう努めてまいりたいと考えております。また、道路によって管理者が違うため、このたびの議員の質問については、八雲町から各管理者に申し伝えておきます。



いながき ゆう
稲垣 悠 議員(野田生小学校6年)

さまざまなイベントを通して、八雲町のPRをしたい

八雲町は雪がたくさん降るため、「かまくらコンテスト」や「写真コンテスト」など、雪を利用したイベントで八雲の良さを伝えませんか。また八雲町の特産品を利用して、パノラマパークの屋内を利用したイベントを開催し、地域の人や町外の人にも楽しむことができるイベントを行ってみませんか。

答弁)教育長

「八雲さむいべや祭り」が代表的な冬のイベントとして、町内外から多くの方々の参加を得ています。大人と子どもと一緒に、かまくらをつくり、コンテストを行うようなイベントは、八雲町にはないイベントの形であり、大人と子どもが協力して充実した時間を過ごすことができるという、議員の素晴らしい発想であると感じたところです。

屋内でのイベントについて、お米やホタテ、二海サーモンなどの八雲町の特産品や自慢できるものをゲームや景品に取り入れることは、町外の方々に八雲町のことを知ってもらい、再び訪れてもらえる機会になりますし、町民の皆さんも参加したくなる楽しいイベントになるのではないかと考えます。

議員から提案いただいた、八雲町の素晴らしさをPRできて、町内外の多くの皆さんの思い出に残るようなイベントにできるよう、八雲町の未来に向けて積極的に町づくりを目指している皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。



にしむら ゆうき
西村 佑貴 議員(東野小学校5年)

「地の利いい町 八雲町」をもっとよりよくするために

町の一次産業をよりよくし、八雲町の農業・漁業に興味を持ってもらうために、①農業や漁業のお手伝いサービスが利用できるようにすること、②農業や漁業で利用する高価な物を買うときに支援すること、③作った物を加工し、売り出し、広めるための道の駅を作ることをご提案します。

答弁)町長

①八雲町では「酪農ヘルパー」という制度があり、農家の方が休みたいときに農家の方にかわって牛の世話をしてくれる仕組みで、町は「酪農ヘルパー」制度を応援しています。

八雲地域の漁業は、漁船での作業が多いなど、誰でもできる仕事ではありません。漁業の場合は自分たちで休むことは可能ですが、そのような希望があれば、漁協と相談したいと思います。

農業・漁業は、生き物や自然を相手にする仕事であり、まとまった休みをとることが難しいですが、ゆとりある農漁業経営のために「お手伝いサービス」のような仕組みも大事なことだと思います。

②高価なものを買うときの支援については、農業ではトラクターや稲刈り機などの高価な機械・設備を買うときに、国や町が支援してきており、漁業でも、漁協と相談しながら国の制度も活用して支援を行っています。

今後も、農協や漁協などと協力し、安定した農業・漁業が行われるよう支援を続けていきます。

③地元の農産物や海産物の加工品を広めるための「道の駅」の建設については、とても良いアイデアだと思います。北海道新幹線が開通すれば、観光客はまだまだ増えると思いますので、第一次産業が盛んな八雲町をもっとPRしていけるような「道の駅」を作れるように頑張っていきます。